

学力実態と学力向上の取組み概要

糸魚川市教育委員会事務局
こども教育課

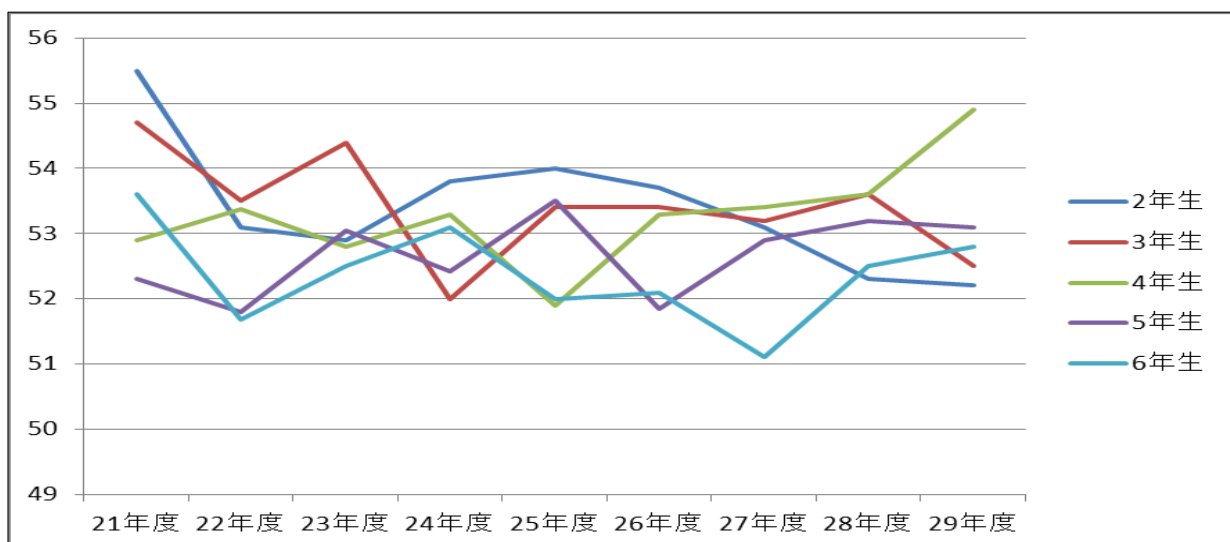
1 全体の傾向

(1) 小学校

- ・ 学年の偏差値平均は 52.2～54.9 の範囲内であり、平均が 53.1 である。27 年度で 52.7 から 28 年度の 53.0 に上昇した。今年度はその学力を保持している。
- ・ 昨年は、2 年生（学習内容は 1 年）以外の学年が前年度を上回る等、各学校の努力の成果が見られた結果となった。今年度は、4，6 年生をのぞく学年で学年偏差値が 0.1～0.2 下がっている。しかし、4 年生は、1.3 の上昇・6 年生は 0.3 の上昇が見られ、全体的は、昨年度とほぼ同程度の偏差値となっている。
- ・ 市の総合計画では、目標値は小学校 6 年で **55.0** を掲げているところであり、授業改善をさらに進めていく。
- ・ 学年間の偏差値順を見ると、2 年生の偏差値が 6 年生の偏差値を下回るのは、H21 年度以降初めてのことである。（下記資料参照）

■ 小学校の学年偏差値の推移

| 年度 学年 | 学習 内容 | H21 (2009) | H22 (2010) | H23 (2011) | H24 (2012) | H25 (2013) | H26 (2014) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) |
|----------|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 2 年生 | 1 年 | 55.5 | 53.1 | 52.9 | 53.8 | 54.0 | 53.7 | 53.1 | 52.3 | 52.2 |
| 3 年生 | 2 年 | 54.7 | 53.5 | 54.4 | 52.0 | 53.4 | 53.4 | 53.2 | 53.6 | 52.5 |
| 4 年生 | 3 年 | 52.9 | 53.4 | 52.8 | 53.3 | 51.9 | 53.3 | 53.4 | 53.6 | 54.9 |
| 5 年生 | 4 年 | 52.3 | 51.8 | 53.1 | 52.4 | 53.5 | 51.9 | 52.9 | 53.2 | 53.1 |
| 6 年生 | 5 年 | 53.6 | 51.7 | 52.5 | 53.1 | 52.0 | 52.1 | 51.1 | 52.5 | 52.8 |
| 平均 | | 53.8 | 52.7 | 53.1 | 52.9 | 52.9 | 52.8 | 52.6 | 53.0 | 53.1 |



(2) 中学校

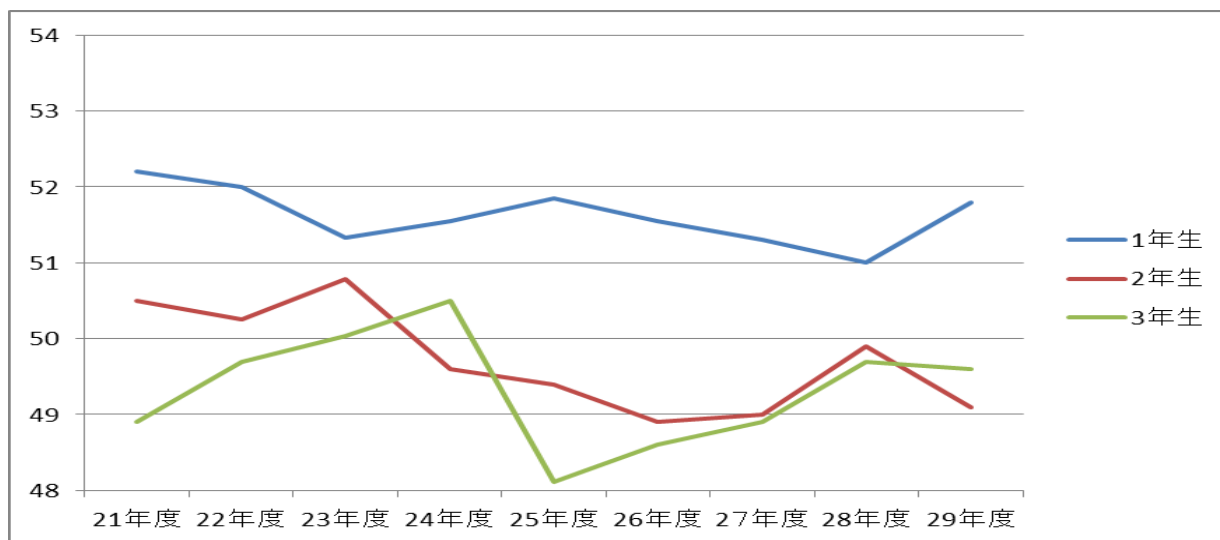
- 市全体の学年の偏差値平均は 49.7～50.1 の範囲内。1年から3年の全平均が 50.1。昨年の 50.2 に続き、50.0 越えを保持している。
 - 中1（学習内容は小6）の市平均は 51.0 → 51.8 **+0.8 ポイント**
 - 中2（学習内容は中1）の市平均は 49.9 → 49.1 **-0.8 ポイント**
 - 中3（学習内容は中2）の市平均は 49.7 → 49.6 **-0.1 ポイント**
- 市の総合計画では中学3年生で **52.0** を目標としている。小学校同様一層の取組を進める。
- 教科別にみると、5教化中3教科で 50.0 を超えている。(国語 51.0、社会 49.4、英語 50.0、数学 50.1、理科 49.5)

全体の中では、3年の社会・数学・理科・英語と、2年の国語・社会・数学・理科が低い傾向にあった。2・3年生の指導に一層、力を入れる必要がある。
- 結果全般を通して、中2、中3の偏差値が横ばいであり、50.0 を超えられない傾向にある。どの学年も 50.0 を超えられるよう指導を進める。

これは、H21年度から中学校に続く傾向である。(下記資料参照)

■ 中学校の学年偏差値の推移

| 年度 学年 | 学習 内容 | H21 (2009) | H22 (2010) | H23 (2011) | H24 (2012) | H25 (2013) | H26 (2014) | H27 (2015) | H28 (2016) | H29 (2017) |
|----------|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1年生 | 小6 | 52.2 | 52.0 | 51.3 | 51.6 | 51.9 | 51.6 | 51.3 | 51.0 | 51.8 |
| 2年生 | 中1 | 50.5 | 50.3 | 50.8 | 49.6 | 49.4 | 48.9 | 49.0 | 49.9 | 49.1 |
| 3年生 | 中2 | 48.9 | 49.7 | 50.0 | 50.5 | 48.1 | 48.6 | 48.9 | 49.7 | 49.6 |
| 平均 | | 50.5 | 50.6 | 50.7 | 50.5 | 49.8 | 49.7 | 49.7 | 50.2 | 50.1 |



2 取組

(1) 学校における取組

- ① 自校のN R Tの結果を分析し、指導の改善を図る
 - ・ 細かく分析し、自校の課題を明確にし、改善策を立て、実践する。
 - ・ 学校全体として取り組む具体策をあげる。(例：「課題とまとめは必ず板書する」「ノート作業後は、授業中 1 度は机間指導し、実態を把握する」等々。策は、N R T分析に基づく自校課題の解決につながるものをつくる。
- ② 学力向上推進システム「Web 配信問題」の活用の仕方を全職員で見直す。
- ③ 成果を挙げつつある学校の取組を紹介し合う場を、小中別の校長会等で設定し取組をシェアする。
- ④ 「集中力」を高め学力向上につなげる取組の充実(小学校)
 - ・ 陰山メソッドを正しく理解し、集中力を高める実践を行う。
 - ・ そのために、まず計算・音読の取組を組織的・継続的に行う。
- ⑤ 陰山メソッドの取組
 - ・ 平成 28 年 4 月に市内全校長を対象に、陰山先生を講師の研修会を実施した。
 - ・ 平成 28 年度は、モデル校（糸魚川東小、大野小、田沢小）を指定し、まず計算や音読等の取組を実施した。
 - ・ モデル校に陰山先生が訪問し、授業観察や示範授業、講演を行った。
(9 月、12 月、1 月)
 - ・ 今年度は、市内全小学校で、まず計算や音読等に取り組む。(朝学習など)
 - ・ 年 3 回 (6 月、11 月、12 月)、陰山先生を講師に研修会を実施予定。

(2) 学習意欲向上の取組

- ① キャリア教育の重視
 - ・ 中 1 大学訪問事業の意義を大切にするとともに、他のキャリア教育との関連を図る。
 - ・ キャリア教育の視点に立って教育活動、指導計画を見直す。
 - ・ 中学 2 年生の職場体験学習の事後指導を丁寧に行う。
- ② 学ぶ意欲を引き出す指導の充実
 - ・ 漢字検定や英語検定の受験の働きかけ……検定そのものが目的ではなく、それを目指そうとする意欲が学習成果を高めることにつながる。
 - ・ 児童生徒の学ぶ意欲を引き出す授業改善を図る。
 - ・ 子どもの活動中のみ取りを丁寧に行う。机間巡視等での授業中の確認や、家庭学習等の作業の確認を行い、ほめたり認めたりするかかわりを通して意欲を高める。